

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会平成26年度第5回定例会会議記録
開催日時	平成26年8月20日（水曜日） 午後8時30分から8時20分
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：渡辺文子、野間春二、瀬川容子、馬場真由美、真鍋五十鈴、畠山昭裕、糸山時子、中曽根聡、上田幸夫、新藤浩伸、大野雅生、武司一郎 職員：田中館長、小笠原分館長、鴨志田分館長、長谷部分館長、平井分館長、石川分館長、市川主事、伊佐主事、松永専門員、山崎専門員、大江専門員、神田園子（オブザーバー）、武蔵野大学実習生2名（研修の一環として参加）
欠席者	小林克彦、西原みどり
議題	1 第4回定例会の記録について 2 報告事項 行政報告 公民館だより編集室報告 社会教育関係委員との懇談会出席者の感想 芝久保公民館第2学習室自習室の現況報告 3 審議事項 (1) 事業計画書・事業報告書について 4 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成26年度第5回定例会次第 資料2 西東京市公民館運営審議会平成26年度第4回定例会会議録 資料3 西東京市公民館だより編集室報告 資料4 くるみタイムズ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し
会議内容	
<p>議題1 第4回定例会の記録について ○事務局： 3ページ、議題4 「公民間」を「公民館」に誤字訂正する。</p> <p>議題2 報告事項 (1) 行政報告 ○事務局： ・教育委員会定例会…9月議会に補正予算案を提出する（小学校における各種研究推進事業の実施ほか学校関係、下野谷遺跡整備に向けた取り組みの実施）。 ・都公連館長部会…今年度関東甲信越静に東京都から職員19人、委員23人が参加する。来年度の第56回大会は11月14日にルネ小平で開催する。今年度大会でチラシを配布する。</p> <p>(2) 公民館だより編集室報告 ・別紙報告書のとおり ○委員： 8月号1面で取り上げた西崎さんあてに14件の問い合わせがきている。西崎さんが通っている絵手紙サークル、スポーツジムの戦後世代からも、生の話が聞きたい、という声が届いている。</p> <p>(3) 社会教育関係委員との懇談会 ○委員：</p>	

7月31日（木曜日）に開催された。

○委員：

公民館の現状を話した。社会教育委員の認識が前向きになったと感じる。

○委員：

期待して参加したが、さらに回を重ねていかないと実のある話になっていかないと感じた。

○委員：

お互いのやっていることについて情報交換できたのはよかった。公民館と図書館ももっとお互いに関心を持ち学ぶことが必要だ。

○委員：

定例的にできるとよい。11月20日に社会教育委員の関東甲信越静大会で西東京市が社会教育施設について発表をする。注目されることが予想され、そのことを鑑みても情報交換の場は大事である。

○事務局：

社会教育委員からの呼びかけで開催した。ざっくばらんな意見交換の場として、特に議事録も作成しない。

(5) 芝久保公民館第二学習室自習室の現況

○事務局：

現在登録者は10人。男性7人、女性3人。中学生2人、高校生4人、一般4人。毎日1人～3人の利用があり、延36人が利用した。今後も新規登録が見込まれる。

○委員：

登録者はどこから情報を得ているか。

○事務局：

公民館だより、館内掲示のようである。

議題3 審議事項

(1) 事業計画書・報告書について

平成26年度公民館主催事業計画書（16件）平成25年度公民館主催事業報告書（12件）

（事業計画書）

第9回人形劇フェスタ in 西東京

委員：

安全管理上の契機から、組織の見直しを提案した、とあるのはどのような経緯か。

事務局：

来場者の通行、避難経路の妨げとなるような状況があった。また、演出効果のためスモークマシンを用いるために一時的に関係機器を塞いでしまった。

被災避難者交流事業「フラダンスで健康づくり」

○委員：

参加者中被災者は何人だったか。

事務局：

1人を除く11人である。

委員：

立川市の大山団地の被災者に対する取り組みに注目している。継続してほしい。

○委員：

被災者以外の参加者があったことは評価したい。

○委員：

市内に何人ほどの避難者がおられるのか。また、今回の呼びかけはどのようにしたのか。

○事務局：

準備段階から、社会福祉協議会、被災当事者とともに企画したものである。おおむね公民館だよりを見ての応募である。

食育講座「育メンパパとクッキング」

○委員：

目標達成度にC評価があるのは？

○事務局：

講師、担当者間で準備段階で、理解を促すための話をさらに詰める余地があった。

世代間交流講座 「囲碁にチャレンジ PART2」

○委員：

小中学生の参加が申込に比して少なかったのはどうしてか。

○事務局：

応募の小中学生が全日程参加できない状況にあったようだ。

地域の人に学ぶ講座「もっと知りたい韓国あれこれ」

○委員：

抽選になる応募があったようだ。ニーズが感じられ、また実施してもよいと思う。現在の情勢を鑑みても、身近に知り合える講座があるのはよいことである。

田無カレッジ「人形劇の魅力」

○委員：

様変わりを感じる。自分が参加したときは地域デビューの契機だった。今後はどう運営するか。

○事務局

同様のカリキュラムは高齢者大学にもあり類似点を整理した。職員数の縮小もあり短期の講座としている。1人の担当で多人数、長期の講座を運営するのは困難である。

○委員：

高齢者大学はグループ活動への継続援助がないことも留意してほしい。

○委員：

人形劇は子どもだけのものではないと認識を新たにした。

自分らしさを大切に生きるために2 セクシャルマイノリティを生きる私

○委員：

25人も集まったこと、チャレンジしたことを評価する。

ここでのセクシャルマイノリティの定義は同性愛者か。

○事務局：

同性愛者に限定はせず、さまざまな性的少数者を対象とした。

親子で世界とツナガル はじめの一步！

○委員：

参加者の評価に「日本語や日本文化の大切さ」があるが、これは大事だと思う。また、英語圏以外の多くの文化の認識につながることも大切で、引き続き取り組んでほしい。

夏休み親子防災講座

○委員：

参加3組はさびしい。水害等の対策も必要である。

○事務局：

他機関との連携等、今後実施方法を考えていく必要がある。

あなたの知らない我が町探訪ツアー

○委員：

意欲的に各所を訪れる企画であり、関心を覚える。

青年就労支援事業 3Dプリンタオペレーション講座

○委員：

すぐれた企画であり学校等にもPRしてほしい。

○事務局：

不利な状況に置かれている青年を支援しているNPO等にも先行して情報提供していきたい。

青少年ものづくり講座 プロから学ぶアニメーション作り

○委員：

あめんぼ教室、くるみ学級からの参加は見込めるか。

○事務局：

対象は小中学生である。

あなたは、この地域に満足していますか？ 基礎から学ぶ「住民参加」

○委員：

意気込みを聞かせてほしい。

○事務局：

住民参加を学ぶ講座だが、大学の授業のように概論を学ぶのではなく、西東京市では何が出来るか、身近な公共施設の問題と関連して考えていきたい。

障がいを持つ人と共に学ぶ講座「みんなで音楽を楽しもう」

○委員：

定員12人中障がいのある若者10人ということは、健常者は2人か。

○事務局：

趣旨は「一緒に」ということであり、人数については工夫していく。

○委員：
実施時間は。

○事務局：
午前中である。

雑学講座「世界遺産のそこが知りたい楽しみ方」

○委員：
実施時間の根拠は。

○事務局：
芝久保公民館に夜間帯に集ってもらいたいという意図もある。近隣の住民に聞き取りもして、高齢者も含めて集まりやすい時間帯と考えた。

(事業報告書)

料理がつなぐ温か地域の交流

○委員：
ふれあいのまちづくり住民懇談会、社会福祉協議会等との協働を評価する。一人暮らし高齢者が暮らしやすい街づくりにつなげてほしい。

食育講座「手打ちうどんに挑戦」

○委員：
当市はうどん文化であることを謳ってほしい。

地域を考える講座 共に生きるための居場所づくり

○委員：
午前11時30分終了予定だが、懇談会の時間は確保できるか。

○事務局：
1時間は確保する。

自分と家族のための介護講座 介護は突然やってくる！

○委員：
6回はやや長く参加しづらいと感じた。次は3回を1クールくらいで計画してほしい。

(報告書、計画書全体を通して)

○委員：
今回、困難を抱えた人に向けて事業を行っていくという、公民館の役割が見えてきたと感じられる。

議題4 事務連絡及び情報交換

武蔵野大学生の模擬計画書について審議。

平成26年度第6回定例会 9月24日(水) 午後6時30分～ 於:田無公民館 第二学習室